



2019年2月4日 立春 発行!

『やさしい死神』

TENDRE ET LA MORT

きのとりこ 著

千倉書房 ¥1500+ 税

天地 187mm× 左右 108mm 128p

ISBN: 978-4-8051-1166-6



『死神さん……？ そっちへ行かせて』

なんども、なんども、
立ち直ってきたけれど……疲れた。
もう、がんばれない……。



日本語とフランス語で書かれています

この本の原型は、2009年に日本で『わたしの優しい死神』（木耳社）、フランスで“Tendre est La Mort”（Éditions Sarbacane）という題で出版されました。フランス版はその年に、LIBYLIT 賞—ベルギーにおける伝説絵本最優秀賞—を受賞し、その後イタリア語、中国語に翻訳されました。国や言語が違ってても、共感を得られるテーマなのだ、私自身が考えさせられました。あれから10年、このテーマは今こそまた世に出す時！と、熱いエールを受けて、新装版が千倉書房より出版される運びとなりました。（本書カバー「著者より」より抜粋）



2019年3月8日 ミツバチの日 発行!

『ミツバチと花の迷宮』

Honeybees & the Labyrinths of Flowers

きのとりこ 著

佐々木正己（玉川大学名誉教授）監修

評論社 ¥1800+ 税

天地 240mm× 左右 257mm 48p

ISBN: 978-4-566-02386-4

世界中で植物の受粉に欠かせないミツバチ。その活躍と蜜源植物の多様性を、迷路をたどって、めりえをぬって、ミツバチ目線で楽しむ科学絵本。ミツバチと私たちと自然の関わりに目を開かされる一冊。



世界の蜜源植物を、ミツバチの目線でたどる迷路&めりえ



ミツバチの生態等についてさらに詳しく知ることができる資料ページ

